

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	スパズムもしくは強直発作を呈する難治てんかんに対する脳波と迷走神経刺激療法の効果の関係
研究責任者	聖隷浜松病院小児神経科岡西徹
研究実施体制	聖隷浜松病院のみ
研究期間	2017年 9月 から2020年 8月
対象者	2010年1月から2016年12月までの間に聖隷浜松病院てんかんセンターにて迷走神経刺激装置埋込術を行った患者。
研究の意義・目的	難治てんかんのうち、スパズムもしくは強直発作に対しては迷走神経刺激装置の効果は少ないと思われるが、現時点では明らかになっていない。証明する事で治療選択をより正確に出来るようになる。
研究の方法	後方視的に電子カルテより情報を収集する。脳波発作パターンを含む発作型、その他年齢、背景疾患、その他因子と発作予後を統計的に解析し、予後予測因子を検討する。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 小児神経科 (氏名) 岡西 徹 (電話)053-474-2222 (代表) TEL:053-474-2222(代表) 小児神経科外来 9:00~17:00 平日